

SEAKER L3

取扱説明書

V1.0.9/20231023

operating instructions



www.safedive.jp

ELTRES

目次

目次	2
重要な警告	3
利用規約とプライバシーポリシー	3
Attention	3
責任範囲説明	3
SEAKER_L3の使用方法	4
各部位の名称と役割	4
電池	5
電池のインストール方法	5
使用方法	6
通常時のLED表示	6
起動中のLED表示	6
PWR-LED（左）の表示	7
GPS-LED（中）の表示	7
ボタン操作時のLED表示 CALL-LED（右）	8
CALL操作	8
SOS操作	9
通知の範囲	10
「SEAKERサーバー_v1」における通知の範囲	10
装着方法	11
SEAKER_L3の装着/固定方法	11
TRACKERアプリ	13
インストール	13
通信費用/アプリの利用料金	13
ユーザー登録	13
デバイス（SEAKER_L3）の登録方法1、利用許諾権の購入	14
デバイス（SEAKER_L3）の登録方法2、デバイスの登録	15
デバイス表示のカスタマイズ	16
フォロー：フォローデバイスの検索	17
フォロー申請	17
上手く表示されないときは？	18
メンテナンス	19
お手入れ	19
定期メンテナンス	19
故障かと思ったら	20
保証を受けるには	20
製品について	21
仕様	21
保証について	22
製品の動作保証について	22
重要：緊急連絡先の役割	23
重要：SOS「利用者緊急事態」の濫用防止	23

重要な警告

この説明書の引用や、コピーまたは転用、その他のファイルでの拡散等は、QUADRA PLANNING株式会社から文章での承認なしでは、その行為を禁止します。QUADRA PLANNING株式会社は、絶えず商品の改良を行う方針で商品を提供しているため、このマニュアルで説明する商品の変更を、事前の告知なく行える権利を有するものです。いかなる場合でも、QUADRA PLANNING株式会社は第三者の商品使用及びサービス利用による、損害や喪失に対する責任は、一切それを負いません。

このバージョンより新しい取扱説明書がQUADRA PLANNING株式会社のWebページにアップロードされていることがあります。

QUADRA PLANNING株式会社はユーザーが最新の取扱説明書を使用前に確認し最新の内容をユーザーが理解している事を前提として全てのサービスを提供します。ユーザーは使用前に必ず新しい取扱説明書や新しいソフトウェアバージョンにアップデートする必要があるとあり、それを怠って被った損害は全てユーザーの責に帰する物とし、その条件に同意出来ない場合はQUADRA PLANNING株式会社の全ての製品を利用してはなりません。QUADRA PLANNING株式会社はこの条件が守られなかった場合、損害や喪失に対する責任は、一切それを負いません。



www.safedive.jp

利用規約とプライバシーポリシー

QUADRA PLANNING株式会社のWebページまたは、TRACKERアプリ上に記載された「利用約款」及び「プライバシーポリシー」を必ずお読みください。その内容に同意戴けない場合はQUADRA PLANNING株式会社の提供する全てのサービス、製品を使用してはいけません。QUADRA PLANNING株式会社はこの条件が守られなかった場合、損害や喪失に対する責任は、一切それを負いません。

Attention

SEAKER製品そのものやTRACKERアプリを使用する携帯端末及び通信システムは、電気精密製品であり故障はつきものです。もしもの不具合や故障に備えて、また自身の安全を確保するためにも、自ら安全対策を多重に用意し、SEAKER製品は補助（万一の備え）として取り扱ってください。

責任範囲説明

この取扱説明書は、機器の操作方法やアクティビティ中に機器が提示する情報を説明するものです。機器が提示する情報は、ユーザー自身が理解し、アクティビティ中に適切に利用するのであり、QUADRA PLANNING株式会社はその責任を負いません。機器を使用する前には、この取扱説明書をよく読んで、機器の性能や提示する各種情報を十分に理解した上で、アクティビティを実行してください。アクティビティ中に提示される各種情報には、警告・注意などが含まれます。もし、機器の性能や提示される情報を理解出来ない場合、自己責任においてこの機器を使用できない場合は、この機器を使用（利用）してのアクティビティはおこなわないでください。

SOS機能を含む全ての情報とその通知機能の完全性をQUADRA PLANNING株式会社は保証しません。また、この通信システムは予告なく休止又は停止する事があり、提供している全ての機能が正常に動作することを保証しません。QUADRA PLANNING株式会社の提供する全ての製品を利用した時にユーザーが被った全ての結果について、QUADRA PLANNING株式会社はその責を一切負いません。

QUADRA PLANNING株式会社が提供する全ての製品及びサービスを使用した場合は、上記「重要な警告」「利用規約とプライバシーポリシー」「Attention」「責任範囲説明」に同意したことになります。同意出来ない場合は全ての弊社製品を利用してはいけません。

SEAKER_L3の使用方法

各部位の名称と役割



名称	機能	注意
① 浮力/アンテナエリア	浮力エリア/送信アンテナのエリア	手/濡布/ウエットで覆わない
② GNSS(GPS)アンテナ位置	位置測位用アンテナ	手/濡布/ウエットで覆わない
③ PWR-LED	電源と電池の状態表示用LED	
④ GPS-LED	GNSS受信と位置情報送信状態LED	
⑤ CAL-LED	呼出とSOSステータス表示LED	
⑥ CALLボタン	母船/仲間を呼び出すボタン	ON：5秒長押 OFF：5秒長押
⑦ SOSボタン	緊急時に救難を送出するボタン	ON：9回連打 OFF：5秒長押
⑧ 固定 ホール	テザー等の固定用ホール	浮力があるテザーを使用のこと
⑨ 電源ON-OFF/電池キャップ	ON/OFF機能 / 電池交換キャップ	ON：締込む OFF：緩める
⑩ WEBリンクQRコード	最新情報チェック用Webリンク	
⑪ ID (シリアルコード)	機体固有コード	
⑫ CR123A電池	信頼出来る電池をお使いください	充電池不可

電池

電源仕様

使用可能な電源は3V~5Vの範囲内で、耐衝撃かつ保管中/使用中/水没/してもガスの発生が少ない信頼性の高い電池をご使用ください。

推奨電池

【CR123Aタイプ】

Panasonic CR123A	FUJITSU FDK CR123AC
maxell CR123A	MITSUBISHI ELECTRIC CR123A

NOTE：電池の仕様上では動作温度 -20~+60度となっている物が多いですが 弊社テストでは0度以下の領域での供給電力不足による動作停止が起こっておりますのでお気を付けください。

※SEAKER_L3の動作環境温度仕様は -20℃ ~ +60℃ です

非推奨電池

【塩化チオニルリチウム一次電池】 (Li-SOCL2) **使用不可** (SAFT T32-8AA1等)

注意：塩化チオニルリチウム一次電池は寒冷地に強い電池ですが 衝撃により腐食性ガスが発生する可能性が有るため、密閉容器のSEAKER_L3では使用を推奨出来ません。保証対象外となります。

NOTE：極低温環境 0℃~ -20℃ でご使用の場合は弊社までお問い合わせください

禁止電池

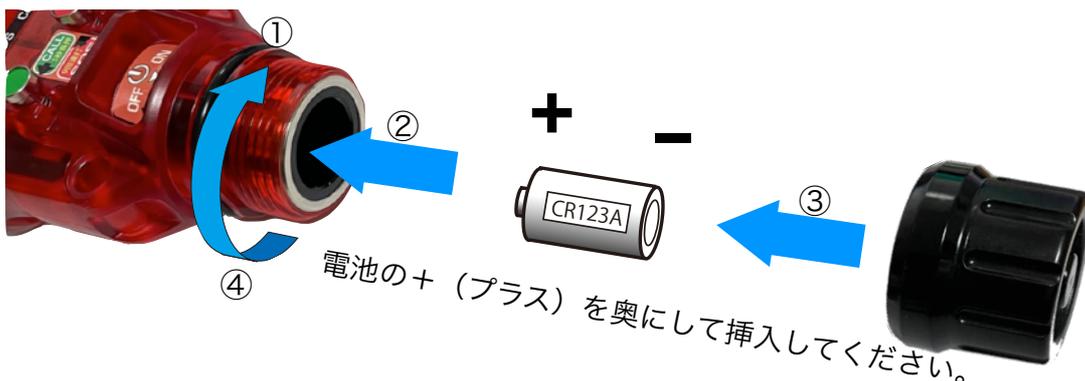
【充電電池（2次電池）各種】 **使用禁止** (各種リチウムイオン充電電池等)

注意：可燃ガスが発生する可能性が有るため、密閉容器のSEAKER_L3で使用してはいけません。

電池のインストール方法

水分の無い、清浄な環境かつ手が清浄な状態で電池インストールを行ってください。
本体下部の黒い電池キャップ（電源スイッチを兼ねます）を左に回転させ取り外してください。
中に乾燥剤「シリカゲル」が入っている場合は取り除いてください。

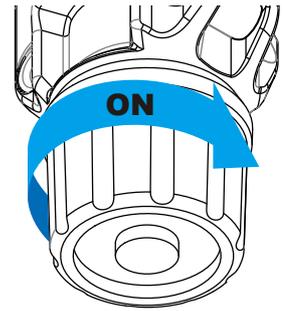
- ① 本体に装着されたOリングにゴミ、砂、毛などが付着していないか確認してください
 - ② 電池の+側を奥に挿入します。
 - ③ 電池キャップを装着します
 - ④ 電池キャップを右に回転させ締めます。最後まで回しきり電源が入ることを確認してください。
- ※ LEDが点滅し始めますので、直ちに使用する必要が無い場合は、1回転戻して（LEDが消灯するまで戻す）電源が切れたことを確認してください。



使用方法

電源ON

底部にある黒い電池キャップを右に回して最後まで締め込みます
きつく締め付ける必要はありません、回転が止まるまで
緩く回してください。



電源OFF

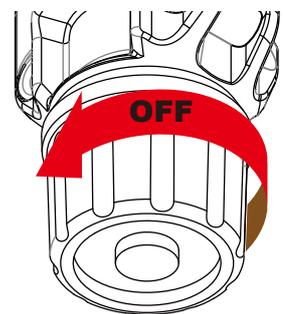
底部にある黒い電池キャップを左に1回転させ、緩めて電源をOFF。

このとき、1.5回転以上緩めないでください。

1回転緩めた状態でダイビングに耐える耐圧を維持しています (-45m)

NOTE：本製品は救難ビーコンとして動態状態で長時間待機（月/年単位）する用途を想定し、キャップを1回転戻し電池と電子回路を物理的に切断する事で 電池本来の保存期間（※製品により5～10年間）を損耗せずに長期間待機することを考慮した設計となっています。

注意：SEAKER_L3の保管方法としてこの方法をメーカーは推奨しません。保管中は電池を取り除いて下さい。この方法を用い故障しても保証対象となりません、ご注意ください。



通常時のLED表示

起動中のLED表示

電源をONにすると、SEAKER_L3は起動を開始しLEDは「左右シーケンシャル点滅」を行います。

NOTE：左右シーケンシャル点滅：PWR-GPS-CALの3つのLEDを左右順次に行ったり来たりするような点滅



[起動中...](#)

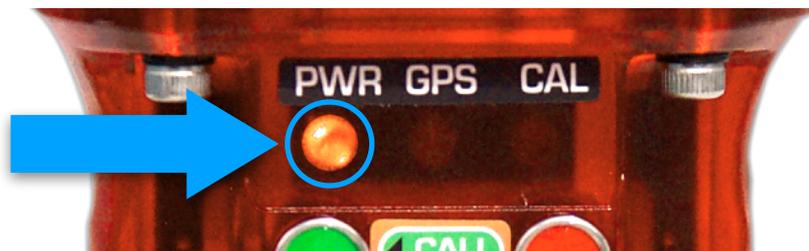
この状態の時は、起動しながらGNSS（GPS）衛星からの電波を探しており、GNSSの電波を受信出来るまで左右シーケンシャル点滅を続けます。

NOTE：左右シーケンシャル点滅が10分以上終了しない場合は上空に障害物（軒先や高層ビル）などが無いか確認し、上空がクリアになる場所へ移動してください。

PWR—LED（左）の表示

電池残量表示

起動完了後は左右シーケンシャル点滅が終了し、PWR-LEDが6秒毎に点灯しおよその電池残量表示を表示する状態になります。



電池残量表示

およその電池残量はPWR-LEDの6秒おきの点滅で表します。

1回点滅	（長い1回点灯）	●●●●	電池残量	約100%～50%
2回点滅	（中間長の2回点灯）	●●●●	電池残量	約50%～25%
4回点滅	（短い4回点滅）	●●●●	電池残量	約25%以下

電池残量による送信間隔の変移

- 1回点滅状態の時、SEAKER_L3は 位置情報を1分毎に送信します。
- 2回点滅状態の時、SEAKER_L3は 位置情報を6分毎に送信します。
- 4回点滅状態の時、SEAKER_L3は 位置情報を15分毎に送信します。

NOTE：電池の残量が50%を下回らない様に電池を交換することを推奨します。

GPS—LED（中）の表示

位置情報送信表示



真ん中のGPS-LEDが ●●● ●●●● （短い点灯×3-長い点灯×1）と点滅したときに SEAKER_L3は位置情報を送信しています。

GNSSロスト表示

GPS-LEDが ●●● ●●●●●● と短い点滅を2回繰り返しているときは、GNSS（GPS）からの電波を受信出来なくなり、位置情報の正確性に欠ける状況となっています。

上空に障害物（軒先、高層ビル、屋内、地下街、金属製船体）などが無いか確認し、上空がクリアになる場所へ移動してください。

ボタン操作時のLED表示 CALL-LED (右)

CALL操作

仲間や母船を呼び出すときに使用する機能です。この機能をON にすると、位置情報と共にCALL (呼出) が送信されます。 ご家族や、予めフォローさせておいた仲間のTRACKERアプリがこのCALL (呼出) を受信すると、画面上に「CALL」が表示され、短いブザー音が発せられます。

CALL-ON

CALLボタン (緑色のボタン) を5秒以上押下すると、SEAKER_L3は「CALLモード」となります。CALLモード中は、CAL-LEDが6秒おきに ●●●● 4回点滅します。

※CALLモード中にSOS-ON操作を行うと、SOS操作が優先されSOSが発信されます
※SEAKER_L3が起動直後 (左右シーケンシャル点滅中) でもCALL操作は有効です、GNSS (GPS) で自位置を測位後直ちにCALLを送信します。



[CALL機能](#)

CALL-OFF

CALLモードを終了するには、再度CALLボタンを5秒間押下してください。CAL-LEDの点滅が停止します。また「CALLモード」を終了する信号が送信されフォロワーに表示されていた「CALL」が消去されます。

※警告※ : CALLモードの終了動作を行わずに電源をOFFにしても再び電源を入れると「CALL」の送信を再開します。「CALL表示」を消去するには、SEAKER_L3でCALLのOFF操作を行う必要が有ります。



SOS操作

あなたが救助を必要としたときに使用する機能です。CALL機能とは違い、予め設定した緊急連絡先へ速やかに救難を通知します。また、あなたのフォロワーと、更に全てのTRACKERアプリ利用者へも位置情報や名前等の個人情報が開示される事があります。（公開範囲は救難の状況で変わります）

さらに、家族からの要請など、状況により救助組織などへ個人情報を開示する事があります。

※参照：「利用約款」「プライバシーポリシー」（アプリ内、Web内に最新版が掲載されています）

※警告※ SOS操作を行う事は、救助に関わる「人的費用、通信費用、消費物資費用、救難移動費用、等の救助のための全てのコスト」が「あなた」に請求される事があることを了承したことになります。：興味本位、試す、などでSOS機能を使用しないでください。

※：23ページ参照

SOS-ON

SOSボタン（赤色のボタン）を9回以上押下（連打）してください。すると、SEAKER_L3は「利用者緊急事態」を宣言し、「SOSモード」となります。

SOSモード中は CAL-LEDが モールス符号で S O S を意味する、●●● ●●●●● ●●●●●
（短い点滅3回、長い点滅3回、短い点滅3回）を1サイクルとして点滅し続けます。

※SOSモード中にCALL-ON操作を行うと、CALL操作が優先されCALLが発信されます

※SEAKER_L3が起動直後（左右シーケンシャル点滅中）でもSOS操作は有効です、GNSS（GPS）で自位置を測位後直ちにSOSを送信します。



SOS機能

SOS-OFF

SOSモードを終了するには、SOSボタンを5秒間押下してください。CAL-LEDの点滅が停止します。また「SOSモード」終了する信号が送信され、「利用者緊急事態」が解除されます。

※警告※：SOSモードの終了動作を行わずに電源をOFFにしても再び電源を入れると「SOS」の送信を再開します。「SOS表示」を消去するには、SEAKER_L3でSOSのOFF操作を行う必要が有ります。



通知の範囲

「SEAKERサーバー_v1」における通知の範囲

NOTE：通知の範囲はより良い救難、安全リスクの低減を目的として精力的にアップデートする方針です。他のアプリケーションとの連携や、救難組織、安全組織、マリナー、海水浴場管理者などが協力者として追加されていく予定ですので、最新情報はSEAKERのホームページを参照してください。

CALLの通知範囲

CALLモードONを受信したSEAKERサーバーは、持ち主（あなた）をフォローしているユーザーのTRACKERアプリ上で「持ち主がCALLしている」事を目立つ様に表示します。

NOTE：CALL通知対象者＝
・持ち主（あなた）のフォロワー

NOTE：持ち主（あなた）のフォロワーになるには、持ち主（あなた）のSEAKER_L3に貼附されたQRコードをフォロワー希望者のTRACKERアプリで読み取るか、ユーザー名で検索して申請します。フォロワー希望者からのフォロー申請を持ち主（あなた）が承認すると、フォロワーはあなたの位置情報を受信する事が可能になります。
※フォローの一時中止や削除は持ち主（あなた）がいつでも自由に行えます。

SOSの通知範囲

SEAKER_L3がSOSを発信すると、サーバーは緊急連絡先へ「救難」をメールで通知します。また、フォロワーにも「持ち主が救難信号を発した」事を目立つ様に表示します。

「利用者緊急事態」が宣言されて、ある程度時間が経っても宣言が解除されない場合は救難が発信された位置の近くに居る、“全ての” TRACKERアプリ利用者へ「要救助者が近くに居ます」という表示を行います。

NOTE：SOS通知対象者＝
・緊急連絡先（アプリに登録されている連絡先）P23：「緊急連絡先の役割」参照
・持ち主（あなた）のフォロワー
・近くに居る全てのTRACKERアプリ利用者
・状況により（家族の要請等）救助組織（海上保安庁/消防/警察、民間救助団体等）への情報提供
※注意※ SOSを発信＝「利用者緊急事態」を行うと、位置情報や計測データと共にアプリに記載頂いた個人情報/メディカル情報等の全てを、救助をおこなう全ての人々へ公開する事と共に救難に関わるオペレーションコストを「あなた」が負担（支払）する事を了承したことになります。

装着方法

SEAKER_L3の装着/固定方法

陸上

電源をONにしたら、「GPS」マークを身体の外側に向け装着してください。SEAKER_L3前面の「GPS」マークの部分が金属製の物や濡れた物、手などで覆われないようにお気を付けください。

身体側にGPSアンテナが向かない様にしてください



海上

※単体で浮かせる場合

SEAKER_L3は水面から出来るだけ離して高い位置にある方が性能が高く出ますが、その体勢を維持する為に体力を消耗するぐらいなら、SEAKER_L3を身体から離し、単体で浮かせた方がリスクを減らせ生存の可能性を大きくする事が出来ます。

SEAKER_L3はこの浮遊状態でも仕様通りの性能を維持するよう設計されています。

※身体に装着する場合

送信用のアンテナ（半透明の機体上部）が、水面上に出るように配慮する必要があります。水面下にならない身体の出来るだけ高い位置へ装着してください。

万一意識を喪失したときに水面下にならないような場所に装着する事も大切です。

「GPS」マークを身体の外側に向け装着してください。SEAKER_L3前面の「GPS」マークの部分が金属製の物や濡れた物、手などで覆われないようにお気を付けください。

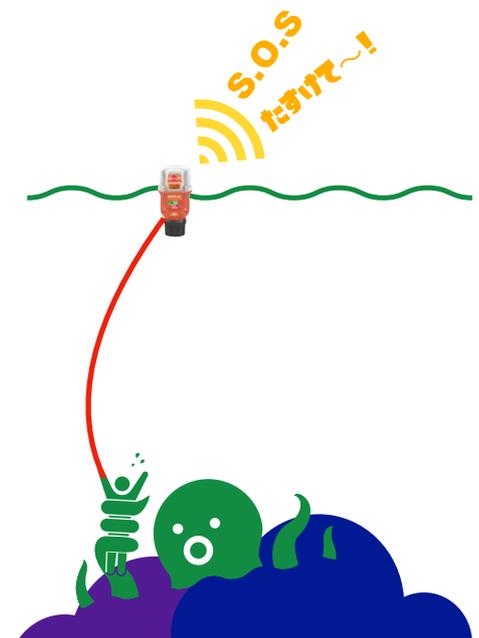


テザー

身体から離して単体で浮かせるときや、紛失対策のため、SEAKER_L3と身体をつなぐ短い「テザー」と拘束対策「Oリング」を付属しました。（取付方法は後述）

ダイブリールを利用して潜水中に長いテザーでSEAKER_L3を遠隔で浮かせる場合は、テザーの材質にご注意ください。浮力が中性以上に有り、SEAKER_L3の浮力をジャマしない材質を使うか、補助の浮力を取り付けてください。

※SEAKER_L3が起動直後（左右シーケンシャル点滅中）でもSOS/CALL操作は有効です、GNSS（GPS）で自位置を測位後直ちにSOS/CALLを送信します。



テザーケーブルの取付方法

テザーを取り付ける時は、万一の水中拘束時にケーブルを開放出来る様に取り付けてください
万一テザーケーブルに過大な張力が掛かった時にケーブルを切断開放出来る様に「汎用Oリング」を付属しております。

ー注意ーこの「汎用Oリング」は消耗品です。劣化が見られたら交換が必要です※使用状況によっては短期間で劣化することがありますので、毎使用前にチェックをして、必要に応じて交換してください。

- ① テザーケーブルに、「汎用Oリング」を結びつけます。



- ② テザーケーブルをSEAKER_L3のホールに通し、更に「汎用Oリング」に通してから身体に結びつけます



- ③ ーポーチを利用頂く場合ー
テザーケーブルをポーチ内部から、排水穴を通して引き出し、先端に結び目を作って固定します



SEAKER_L3を簡単に装着できる専用ポーチ 別売アクセサリ (MOLLE SYSTEM/PALS準拠)

SEAKER_L3の上部アンテナを露出するデザインとなっており、GNSS(GPS)電波の受信と位置情報送信に影響がでないよう配慮しています。(SEAKER_L3は濡れた布で包むと性能が低下します。)

ポーチの取付位置にご注意ください

SEAKER_L3を使用時に取付位置が水面より上になるように配慮してください。

(SEAKER_L3は水中では送信できません。)



船舶や車に固定する場合

SEAKER_L3の送出する電波は金属や水分により吸収されます。金属の船体/車体/機体の中では動作しません。金属の壁や、金属パイプに直接SEAKER_L3を固定しないで下さい。 やむなく金属に固定する場合は最低5センチ程度、金属から木片など挟むなどして離して固定してください。

NOTE：この制限は、筐体の半透明な部分（上部）だけに影響します。金属マスト（棒/パイプ等）などに取り付ける場合は、マストの上辺から筐体上部（半透明部分）が飛び出す様に取り付けて下さい。

SEAKER_L3を布などで覆わないでください。雨や海水などで布が濡れると電波をジャマしてしまいます。(乾いた状態なら問題ありません)

TRACKERアプリ

インストール

iOS (iPhone/iPad)

<https://apps.apple.com/us/app/seaker-tracker/id1538676180>

Android

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.hmdt.seaker>

「SEAKER TRACKER」を検索

インストール後、アプリからの入力指示に従って入力ください。

ご案内はWebに掲載のビデオをご参照ください

NOTE : SEAKER_L3の登録に必要な「登録コード (パスキー)」は製品と同梱された「操作方法メモ」に記載されています。



iOS (iPhone/iPad)



Android

通信費用/アプリの利用料金

スマートフォンアプリ「SEAKER_TRACKER」の基本利用は無料です。ご家族や友人などの位置を受信するのに費用はかかりません。ソフトウェアのアプリ内課金は「端末」(SEAKER_L3)の通信費用等とお考えください。SEAKER_L3をお持ちの方だけが通信費用(月あたり625円/年契約)を負担します。位置の受信機能だけを利用する「ご家族/ご友人」は無料となります。

(別途、有料の海図などのオプション購入も今後サービス開始します)

ユーザー登録

アプリを起動するとサインイン画面が表示されます。

1. 新規ユーザー登録は登録ボタンをタップしてください
2. ユーザー名の決定 (入力必須/内容は任意です)
3. パスワードの設定 (入力必須/内容は任意です/セキュリティが低いワードは使えません)
4. メールアドレスの入力→サーバーが確認メールを送信します
5. 受信したメールに記載の「確認コード」を「SEAKER_TRACKER」に入力
6. 連絡先を登録してください。

以上でSEAKER_TRACKERの機能がお使い頂けます。



デバイス (SEAKER_L3) の登録方法1、利用許諾権の購入

実際にデバイス (SEAKER_L3) を登録する前に「利用許諾権」の購入が必要です。
 利用許諾権は1単位で「1台/1年間」の利用を提供します。7500円 (625円X12月)
 複数台のSEAKER_L3をご利用の場合はその台数分、
 複数年のご利用の場合はその年数分ご購入ください。
 利用開始後1年後に未使用の利用許諾権が有る場合は自動的に消費されます。

購入方法

1. 画面の右にある歯車マーク  をタップし「設定」画面を開きます
2. 「プラン」をタップして選択
3. お手持ちのSEAKER_L3の数/利用年数に合わせた「プラン」を選択してください
 複数「プラン」は複数の利用許諾権をまとめて購入いただく為のメニューです
 まとめて購入頂くと割引価格が適応されます。複数の「利用許諾権」を1台のSEAKER_L3
 に使用する事も可能です (複数年利用可能)

プラン	許諾権の数	価格	備考
パーソナルプラン	1	7,500円	1台を1年間利用頂けます
ファミリープラン	3	21,800円	3台を1年間もしくは1台を3年間利用可
プロフェッショナルプラン	5	34,800円	5台の場合は1年間利用可
ショッププラン	15	98,800円	5台の場合は3年間利用する事も可
個別追加	1	7,500円	追加用のオプションです。

4. ストアの手順に従って決済をお願い致します。
 決済完了すると、「利用許諾権」が付与されます。



デバイス (SEAKER_L3) の登録方法2、デバイスの登録

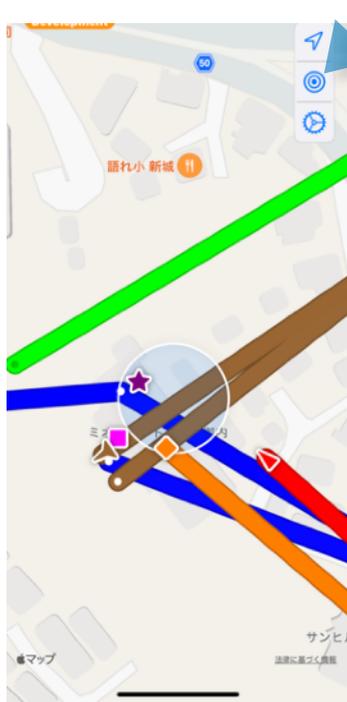
デバイスの登録には、製品裏面に貼附された「ID」(QRコード)と製品に貼附されている 登録コードカード に記載された「登録コード」(パスキー)が必要です。

1. 画面の右にある歯車マーク  をタップし「設定」画面を開きます
2. デバイスをタップ、登録済みデバイス画面を呼び出します。
3. デバイスIDを入力します(製品裏面のIDを転記するか、QRコードで読み込みます)
4. 「登録コードカード」に記載された「登録コード」(パスキー)を入力します
5. デバイスに名前を付けて下さい(他人に見せるときに分かりやすい名前がお勧めです)
6. **登録完了後、通信回線が開通するまで最大2週間掛かる事があります。**
7. 開通すると、通知がSEAKER_TRACKERに届きますので利用を開始してください。



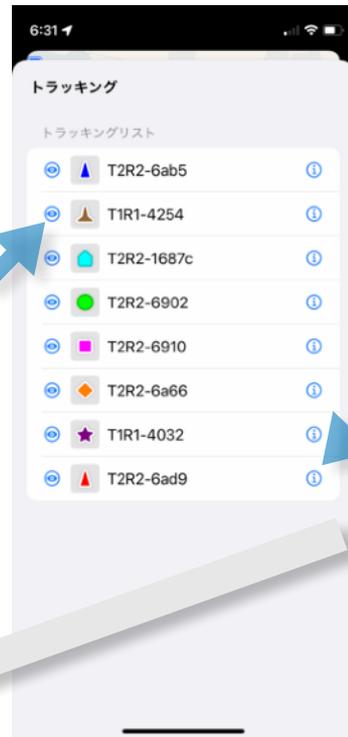
デバイス表示のカスタマイズ

デバイスの表示をカスタマイズする事で、複数デバイスの同時トラッキングや、長時間表示のときの表示を見やすくすることが出来ます。



ターゲットアイコンをタップで、現在受信中の端末一覧が表示されます。

目(アイ)アイコンをタップすると、表示のON/OFFが可能です



iアイコンをタップで表示のカスタマイズ画面を呼び出せます。



表示される軌跡の範囲を指定できます。5分～30日
赤い部分は24時間より前の軌跡の表示をコントロールします。赤で囲まれた範囲だけを表示します。

行方不明者捜索時の検索範囲表示機能です（捜索サポート機能）

表示されるアイコンの形状と軌跡の色を変更出来ます。
（フォローデバイスの色/形状は変更出来ません）

フォロー：フォローデバイスの検索

1. 画面の右にある歯車マーク  をタップし「設定」画面を開きます
2. 「フォロー中のデバイス・・・」をタップ、「フォロー中のデバイス」を呼び出します。
3. 「ユーザーから探す」をタップ、「ユーザーの検索」画面を開きます
4. 「ユーザ」フィールドへ「ユーザー名」を入力してください、下に候補が表示されます。
5. 「フォロー対象者」をタップしてください。



フォロー申請

1. 「フォローリクエストを送る」をタップしてください。
2. リクエストが該当ユーザーに届きます
3. 該当ユーザーにフォローが許可されると、「1台のデバイスをフォローしています」と表示されます→タップして確認してください。
4. もし、フォロー中のデバイスが「トラッキング解除中」となっている場合はボタンをタップして、「トラッキング中」へ変更してください



上手く表示されないときは？

航跡が表示されない / デバイスを登録したのに表示されない等の状況になりましたら、下記をご確認ください。

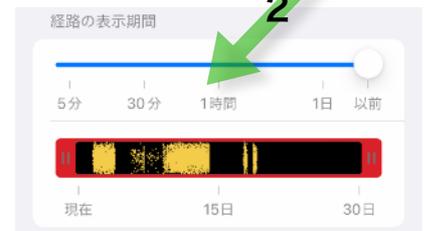
1. トラッキング一覧の「表示アイコン（目）」がOFFになっている

マップ画面にある、ターゲットアイコンをタップして、トラッキングリストを呼び出してください。デバイス名の先頭にある「目」アイコンがON状態になっていることを確認してください。



2. 経路の表示期間が極端に短い

右の ⓘ アイコンをタップすると、デバイスの詳細画面が開きます。経路の表示期間が極端に短い設定になっている場合、その期間にSEAKER_L3が未稼働だと航跡が表示されません。



3. 設定画面のデバイス一覧でトラッキングが解除になっている

マップ画面にある、歯車アイコンをタップして設定画面を開きます。
更に、デバイスをタップしてください。デバイスのトラッキングが「解除中」になっていたら、「追跡中」へ変更してください。



4. 利用環境をご確認ください。

WiFiの受信状況はいかがでしょう？

屋外でしたら携帯網の受信状態をご確認ください。サーバーと通信が正常でなく情報が更新されないことがあります。

5. 上記を試しても表示が更新されない場合は

1度、SEAKER_TRACKERアプリを終了して、再起動をお願いします。

iOS (iPhone/iPadの場合)

A. ホームボタンがない機種→画面下からスワイプして、起動中アプリ一覧を呼びだし、SEAKER_TRACKERアプリをスワイプアウトして終了してください。その後、再度起動してください。

B. ホームボタンがある機種→ホームボタンをダブルクリックして、起動中アプリ一覧を呼びだし、SEAKER_TRACKERアプリをスワイプアウトして終了してください。その後、再度起動してください。

メンテナンス

お手入れ

洗浄

化学物質の無い清浄な清水で丁寧に洗浄してください、乾燥後電池キャップを取り外し、必要に応じてOリングに指定シリコングリスを注油してください。

分解

SEAKER_L3を分解しないでください。耐圧を保証できなくなり、製品保証も無効となります。

保管方法

清水で洗浄後、日陰で乾燥させてください。乾燥は、SEAKER_L3を直立させるとスイッチ内部から水分が排出されやすくなります。

乾燥後、電池を取り出しOリングへシリコングリスを塗布し、冷暗所へ保管してください。

電池ルーム

注意：電池を入れるコンパートメント内部は防水ではありません。このエリアに水が入るとSEAKER_L3の電子基板領域に浸水しますので、電池ルーム内を水で洗浄してはいけません。汚損した場合は乾いた布で優しく拭いてください。

定期メンテナンス

SEAKER_L3は3年以内の定期メンテナンスが必要です。メンテナンスにはQUADRA PLANNINGの認定したメンテナンスファクトリで分解整備/検査を受ける必要が有ります。メンテナンスを受けない場合はSEAKER_L3を継続使用しないでください。

項目	メンテナンス	対象	要/不要	価格
3年毎 定期メン テナンス	分解OH/耐圧検査	SEAKER_L3全体	必須	¥2,000
	GNSS精度検査	位置情報精度検査	必須	¥1,000
	送信出力検査	アナライザによる無線出力の強度検査	必須	¥2,000
	基板検査	電子基板の動作確認	必須	¥2,000
分解時 毎回交換	スイッチOリング	スイッチ部にあるOリングX2	毎回交換	¥100
	筐体Oリング	筐体上部をシールするOリングX1	毎回交換	¥200
	電池キャップOリング	電池ルームのOリング	毎回交換	¥200
損傷時	各部損傷修理	各パーツの損傷修理	状況により	要見積

予告なく変更する事があります。

故障かと思ったら

症状	チェックポイント
LEDが点灯しない。	バッテリーの残量をお確かめください
	バッテリーの挿入方向をご確認ください。
スイッチが反応しない	スイッチは水圧に対応するために固めの設定になっています。 LEDの反応があるまで押しこんでください。

動作に問題がある場合は弊社までメールにてお問い合わせ頂き、修理チケットを入手後指定のメンテナンスサービスへお送りください。

保証を受けるには

SEAKER_L3購入をした日から1カ年の製品保証を行います。
保証を受けるには、購入日が確認出来る購入店舗の領収書の提示及び
TRACKERアプリでの所有者登録で下記の入力が必要となります。
氏名、住所、電話番号、メールアドレスに加え 緊急連絡先等の入力

製品について

仕様

SEAKER_L3仕様			
通信方法	ELTREST™ ※1		
空中線電力 / 周波数	20mW / 923.6～928.0Mhz		
通信方向	上り一方向通信		
データ転送レート	1発信で128bits		
受信感度	-142dBm		
セキュリティ機能	搭載（通信の全てのフェイズで暗号化されています）		
プライバシー対応	対応（例外：救難時/必要とされるデータを開示）		
技術適合	工事設計認証 007-AG0215  R007-AG0215		
RoHS指令	対応準拠		
対応GNSS	GPS、GLONASS、みちびき（日本）		
最大通信距離（計算上）	4000kmオーバー（オプティカルパスが確保された場合）		
実用通信距離（見通し）	100km以上（オプティカルパスが確保された場合）		
高速移動対応	可 時速100km		
使用電池	CR123A ※充電電池使用禁止		
動作時間	約200時間（電池残量により発信間隔遷移あり）		
発信間隔	電池残約100%～50%	約50%～25%	約25%以下
	1分間隔	6分間隔	15分間隔
使用可能温度範囲	-20℃ ～ +60℃		
防水耐圧 / 防振 / 耐衝撃	スクーバ対応：耐圧水深 -45m 防振 / 耐衝撃：有		
サイズ / 重量	約 136 x 66 x 48mm / 200g（電池含）		
本体希望価格	50,000円		
定期メンテナンス	必須：3年毎（工賃7000円/毎回交換パーツ500円）		
呼出機能	有 CALL及びSOS（救難）機能		
TRACKERアプリ仕様			
アプリ利用料金	無料（フォローだけなら無償で利用可）		
位置トラッキング利用料金	月額：625円（年契約となります）		
オフラインマップ	対応（圏外でのマップ利用可能）海図等マップ追加予定		
複数ターゲット	トラッキング可能（最大数はスマホの能力による）		
フォロー機能	有 他人のSEAKER_L3をトラック出来ます。		
呼出通知	有 CALL及びSOS（救難）通知機能		

※1 ELTRESはソニー株式会社の登録商標です。

※2 SEAKER_L3は純日本製です。（技術からプログラムまでのほぼ全てが国産）

※3 SEAKERはQUADRA PLANNING株式会社の登録商標です。

保証について

製品の動作保証について

この保証規定は、お客様がお買い上げ頂いた製品に関して、QUADRA PLANNING株式会社(以下、「弊社」といいます)が保証する内容について明記しています。

第1条(目的)

- 1.本規定は、弊社の製品(以下、「本製品」といいます)に関する保証責任の取扱いについて定めるものとします。
- 2.お客様が本製品の使用を開始された時点で、お客様は本規定に同意して頂いたものとし、お客様と弊社との間で本規定の効力が有効に生ずるものとし、

第2条(保証対象および保証期間)

弊社は、お客様が本製品を購入された日から1年以内(以下、「保証期間」といいます)に本製品について以下の各号のいずれかに該当した場合(以下、「不良」といいます)、次条に定める保証責任を負うものとします。

- 1.本製品の外形または内部に本製品の用途または機能を損なう変質または変形が発生した場合
- 2.本製品が製品仕様書に定められた性能を発揮しない場合

第3条(保証内容)

1. 弊社は、本製品に不良が生じた場合(以下「不良品」といいます)、自らの裁量によって無償による修理または代替品の提供のいずれかの措置を講じるものとします。
2. 弊社が前項の措置を講じた場合、当該措置がなされた本製品の保証期間は、当初の不良品に関する保証期間と同一とします。
3. 弊社が第1項に基づきお客様に対して本製品の代替品の提供を行った場合、弊社において回収致した不良品の所有権は、弊社に帰属するものとします。
4. 弊社は、第1項の代替品の提供に関して、製造中止等の諸事情により同一製品を提供できない場合には、自らの裁量により本製品と同等以上の性能を有する製品を提供できるものとします。
5. 以下の各号の部材は、保証の対象外とします。
 1. 消耗品(パッキン・Oリング・繊維部品・ロープ・バックル等ファスニング部品)
 2. 輸送中における本製品の保護を目的とした梱包材料(製品梱包箱・ビニール袋・緩衝材等)

第4条(免責事項)

- 1.弊社は、以下の各号のいずれかに該当する場合、不良に関して前条に定める保証責任を負わないものとします。
 1. 本製品の輸送・運搬中に発生した衝撃・落下等の外部的要因により不良が発生した場合
 2. 本製品の製品仕様書・取扱説明書・取り扱い上の注意等に違反することにより不良が発生した場合
 3. 電池の装着交換時における防水シールへの損傷や汚れ、異物の付着等お客様または第三者の誤用による水没損傷
 4. 不適合電池、不良電池、汚損電池、水分等の製品内挿入/侵入による損傷
 5. 製品内に結露を起こし得る多量の水分が空気中に保有した環境下で電池交換や分解等を行った場合
 6. 製品仕様にて定められている圧力環境、温度環境、衝撃、電圧、電源等を逸脱した利用による故障損傷
 7. 本製品が設置または接続された装置・機器・車両・船舶・建造物・ソフトウェア等による外的要因に起因して不良が発生した場合
 8. お客様または第三者が事前に弊社の承諾を得ることなく本製品の分解・改造・補修・付属品取付等を行った場合
 9. お客様または第三者の故意または過失により不良が発生した場合
 10. お客様が第5条第3項の禁止事項に違反した結果、不良が発生した場合
 11. 火災・地震・台風・落雷等の天災地変または公害・塩害・静電気・衝撃・仕様外の高圧/負圧・停電・異常電圧等の外部的要因に起因して不良が発生した場合
 12. 本製品の販売時点における科学または技術に関する知見によっては、弊社が不良を予測することができない場合
 13. 通常使用に基づく本製品の自然消耗または経年劣化により不良が発生した場合

14. 本製品が日本以外の国において使用されたことにより不良が発生した場合
15. 保証期間の満了後に不良が発生し、お客様において当該不良が保証期間内に発生したことを証明することができない場合
16. 弊社に対して保証書のご提示がない場合

2.弊社は、第3条第1項の措置の実施の有無を問わず、不良に起因してお客様に生じた通常損害、特別損害、機会損失、逸失利益、事故補償、当社製品以外の製品(本製品と通信回線等により接続されているか否かを問いません)に関する損傷、損失、不具合、データ損失および不良を修補するための費用(人件費、工事費、交通費、運送費等をいいますが、これらに限られません)のいずれに関しても、一切の責任を負わないものとします。

3.お客様が使用されるシステム・機械・装置等への本製品の適合性はお客様自身でご確認いただくものとし、弊社はこれらと本製品との適合性について一切の責任を負わないものとします。

第5条(ソフトウェアの取扱い)

1. 本製品に弊社が著作権者であるソフトウェア(以下、「本ソフトウェア」といいます)が内蔵されている場合、弊社は、お客様に対して本ソフトウェアを日本国内で使用する非独占的で譲渡不能な使用権を許諾するものとします。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能を向上させるべく、自らの裁量により本ソフトウェアをバージョンアップすることができるものとします。弊社は、ソフトウェアのバージョンアップに起因してお客様に生じた通常損害、特別損害、機会損失、逸失利益、事故補償、当社製品以外の製品(本製品と通信回線等により接続されているか否かを問いません)に関する損傷、損失、不具合、データ損失および不良を修補するための費用(人件費、工事費、交通費、運送費等をいいますが、これらに限られません)のいずれに関しても、一切の責任を負わないものとします。
3. お客様は、事前に弊社の承諾を得ることなく、以下の各号の行為を行ってはならないものとします。
 1. 本ソフトウェアを複製すること
 2. 本ソフトウェアの改変・結合・リバースエンジニアリング・逆コンパイル・逆アセンブル等を行うこと
 3. 本ソフトウェアを第三者に対して再使用許諾・貸与・レンタル・転売すること
 4. 本ソフトウェアを第三者に送信可能な状態でネットワーク上に蓄積すること
 5. 本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去すること

第6条(その他)

1. 本製品に関する製品仕様書・取扱説明書・カタログ等の記載内容は、事前に予告なしに変更する場合があります。
2. 本製品に関する弊社の責任は、本規定をもって全てとし、弊社はこれ以外に一切の責任を負わないものとします。
3. 保証書は、日本国内においてのみ有効に効力を生ずるものとします。お客様または第三者が本製品を海外へ輸出される場合、本規定の適用は除外されるものとし、本製品に関する全ての責任は、輸出元に帰属するものとします。
4. 弊社は、お客様による紛失・損傷等の事由を問わず、お客様に対して保証書の再発行を行わないものとします。
5. 本書は、本書に明示した条件に基づき保証をお約束するものです。従って、本書によって弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

第7条(準拠法および管轄裁判所)

本規定は、日本法を準拠法とし、日本法に従って解釈されるものとします。本規定の履行および解釈に関して紛争が生じたときは、沖縄地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とするものとします。

以上

重要：緊急連絡先の役割

SEAKER_システムの取り扱うSOS通知 利用の役割について

SEAKER_システムはその能力と機能をもって、ユーザーの安全に関わる情報を有効に利用出来る様に最善を尽くし取り扱いますが、あくまでも救助活動の支援を行うことしかできません。

万一 遭難が発生したときに、あなたの無事な帰還に最も重要な役割をするのは、救助活動の要となるキーパーソン（緊急連絡先）であり、キーパーソンの行動が初期の大切な救助活動と言えます。救助組織（海上保安庁、各消防署、各警察署）も基本的にはキーパーソンからの要請を元に救難活動を行いますし、救助要請が真正かどうか（誤報かどうか）の担保を必ずキーパーソンへ求めます。

NOTE：特に海上の救難活動は陸上に比べ格段に多くのリソースを消費します。（多数の隊員、救難ヘリコプター、巡視船、大量の燃料、時間）通報の誤報率（97%以上）が極めて高い現状において、救難要請の真贋の判定は重要です。

SEAKER_システムは キーパーソンへの情報提供を迅速に行いますが、その提供先が必ずしも適正に救助に貢献できる緊急連絡先かどうかはSEAKER_システムには解りません。

緊急連絡先の登録は、自分の「ライフライン」を入力している事と同義であることを強く認識して頂き、当事者(キーパーソン)である「緊急連絡先の人物」にも良く話をして了承を取ってください。

注意：緊急連絡先を救難組織（海上保安庁、各消防署、各警察署）のメールアドレス等に設定しないでください！必ず貴方の無事を心配してくれるキーパーソンに設定してください。

NOTE：直接「救助組織」へ通報を行っても結局はキーパーソンに真贋を問われるわけですから、スムーズな救助を期待するなら、手順を踏んで救助要請する事が最短となるとSEAKERは考えます

海や山、アウトドアへ出発する日は、
キーパーソンに出発の連絡をしてお出かけすることをお忘れ無く！

重要：SOS「利用者緊急事態」の濫用防止

弊社のポリシーとして、救助を要する人には手厚く、イタズラ等の場合は厳格に対応します。

海上での救難において、誤報、イタズラ等の通報による救助組織の負担が過大になりつつあります。陸上と違い、1度ヘリコプターや船を出動させてしまうと、基地に帰投するまで、次の出動に対応する事が出来なくなりま。これは海上には燃料を補給できるガソリンスタンド等が無く、飛行/航行計画を変更して、別の救助へ対応出来るケースは少数であることが理由です。特に海上では命に関わる事故に繋がりがやすい環境のため、救助の到着が数分遅れるだけで手遅れになりかねません。

弊社では、本当に助けが必要な人への対応を惜しみません。ですが興味本位やイタズラを放置するといずれ海上保安庁や消防などの救助システムそのものが機能なくなってしまいます。そのため、本当に救助が必要な場合以外のケースでは「厳格な対応」をポリシーとして対応します。**緊急以外でSOSボタンを絶対に使用しないで下さい。**

これは、「使用者」本人ではなく、子供等第三者の悪意がない操作が原因であっても対象となりますのでSEAKER_L3の適正な管理を願い申し上げます。詳しくは利用規約とプライバシーポリシーをお読みください。



変更履歴

2023/03/02 金属船体/車体/機体内での動作についてを追記 P12 V1.0.7/20230302

2023/03/14 価格変更 技滴マーク追記 P21 V1.0.8/20230314

2023/10/23 アンドロイド版の公開にあわせ記述を修正 V1.0.9/20231023